

『海女サミット 2021 in 鳥羽』概要

1. 目 的

全国各地では、海女漁を行う多くの海女が存在しており、そのなかで、鳥羽志摩地域は全国最多となる海女が操業をしています。しかし、海女の高齢化による担い手不足や、漁場環境の変化・藻場の減少などによる水産資源の減少などにより、海女そのものの衰退が危惧されています。

また、昨年から新型コロナウイルスの影響により、水産業全体で魚価の低迷や流通の停滞などが続くとともに、これまで、色々な形で実施してきた海女同士の交流や情報交換が図れずにいます。

このことから、海女漁業の振興や海女文化の保存・継承、更にはユネスコ無形文化遺産登録に向けた取り組みを進めるとともに、コロナ禍での海女漁業の現状等を共有することを目的として海女サミットを開催します。

2. 内 容

- 日 時 : 令和3年11月20日(土)
9時30分～13時00分頃 ※1日のみの開催
- 会 場 : 鳥羽市民体育館(サブアリーナ)
- 開催方法 :
鳥羽志摩の海女・・・会場で集合
全国の海女・・・コロナの状況を考慮してオンラインで参加
※ご都合がつく方については、会場での参加も可能です。

<スケジュール>

・ 9:30～9:45 / 開会あいさつ

☆海女振興協議会会長：山本 教和 氏

☆鳥羽市長：中村 欣一郎 氏

☆志摩市長：橋爪 政吉 氏

☆来賓

・ 9:45～10:15 / 映像放映

テーマ：「海女サミットを映像で振り返る」

☆コメンター：塚本 明 氏（三重大学人文学部教授）など

・ 10:15～10:45 / トークセッション

テーマ：「現代アーティストが海女さんを語る」

☆演者：デニス リンダ（女子美術大学芸術学部准教授）

：石原 真伊 氏（海の博物館）

：大野 愛子 氏（石鏡地区海女）

：稲垣 美侑 氏（アーティスト）

☆コーディネーター：塚本 明 氏（三重大学人文学部教授）

・ 10:45～11:00 / 休憩

・ 11:00～11:30 / 演芸

テーマ：「小倉船」

※海に潜って落とし物を探してくることをテーマにした古典落語

☆演者：林家 愛染 氏（上方落語家）

☆コーディネーター：前田 憲司 氏（芸能史家）

・ 11:30～12:15 / 海女さんセッション

テーマ：「全国の海女さん、元気に語り合う」

☆演者：鳥羽志摩の海女 10 人程度

全国の海女オンライン参加

☆コーディネーター：世古 晃文 氏（鳥羽市観光協会）

・ 12:15～12:30 / 大会宣言

☆宣言者：里海を創る海女の会 濱口ちづる 氏（鳥羽市海女）

・ 12:30 / 閉会あいさつ

☆海女振興協議会 副会長

・ 12:40 / 閉会

3. 主 催

海女振興協議会

事務局：鳥羽市農水商工課

〒517-0011 鳥羽市鳥羽三丁目 1 - 1

TEL 0599-25-1167

FAX 0599-26-2810

メール suisan@city.toba.lg.jp